

Update the Value Standard

早川浩士
(有) ハヤカワプランニング
代表取締役

私たちは今、何を学び直すべきか

はじめに、新型コロナウイルス感染症に遭われた皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。この事態が一日も早く収束することを願っています。

2月下旬、「新型コロナの感染拡大に伴い研修を予定していた会」

場が使用できなくなったので開催を延期したい」との連絡が入った。

地域の介護事業者とともに職員合同研修会を定期的に開催する主催メンバーからだった。

「仕事の意欲を高め、職員の定着に必要なこと。とは、何か？」というテーマで研修会を3月中旬に開催したので、その講師を引き受

けて欲しい」と、彼らから要請があったのは1月中旬のこと。

これまで、「知覚動考」知ったことを覚えて行動してみること。その行動はどうだったのか、それを考えてみること」(※1)、「時代の変化を見据えて、私たちは今、何を学び直すべきか!」、「育自(育児の児は自分の自)良好な人間関係の

第一歩は自らを育てること」(※2)など、長々しいタイトルを掲げて講師を務めてきた。

今回は、彼らがテーマを用意してきた。単に「職員の定着」に必要なことを羅列するだけでは不毛な議論になりかねない。職場の誰しもが「仕事の意欲を高め」ながら「職員の定着」につながる命

仕事の意欲を高め、 職員の定着に必要なこと とは、何か?

Profile

はやかわ・ひろし ● 経営コンサルタント。「継栄と人財創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『データで徹底分析介護事業の最新動向と経営展望』、『99の言葉の杖』(いずれも日本医療企画)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)など。本誌にて『経営(継栄)のツボ』を創刊から200回(16年8カ月)連載

URL www.hayakawa-planning.com

題を講師に投げかけたら、どのように応じてくるだろう。主催者側の意図を見定めつつ、噛み応えのあるテーマにワクワクしながら準備を進めていた矢先のことだった。

人の心は面の如し

さて、研修会場で「丸を三つ、書いてください」と講師から問われ

たら、あなたはどうしますか?

- ①丸を三つ並べて書く人
- ②三つの丸を三角状に書く人
- ③丸を重ねて三重丸を書く人

なかには、「指示(意図)が曖昧なので書けない!」と、齒に衣着せずに言い放つ人もいるだろう。

「人の心は面の如し(人の顔つきがみなそれぞれ違っているのと同

様、人の心もそれぞれ違っているということ) (※3)。

言うまでもなく「どのように書いて欲しいのか!」と、明確に伝えなかった講師に問題がある。

職場で聞き馴染む「チームワークを発揮しよう」も同じ。また言ってる「を」を連発して自動思考(※4)の暴走に歯止め利かない人がいる。

うわべだけの言葉を他人事のようには唱え合うのではなく、人間関係のゴタゴタに振り回されながらも「一人ひとりの考えを発表し共感し合える時間を作ろう」と職場環境を楽しむ工夫を凝らしたい。彼らの面倒事に巻き込まれるのは百も承知。世は相見互い。再会が待ち遠しい。